

# 連合気仙2019政策・制度要求と提言



No. 126

【2018. 11. 14】

連合岩手気仙地域協議会  
大船渡市猪川町前田 9-17  
TEL 0192-27-8671  
FAX 0192-47-3471  
http://www.rengo-iwate.jp/

発行責任者：梅木 博  
編集責任者：星 正和

**連合労働相談ホットライン**  
0120-154-052

雇用の不安  
雇い止めの不安はありますか？



住田町→6課題28項目  
陸前高田市→10課題39項目

## 雇用と暮らしの安全・安心を確かなものに



一〇月三〇日、連合気仙「二〇一九政策・制度要求と提言」の要請行動を友好議員の協力をいただきながら、東日本大震災からの復興や産業振興などの政策課題を陸前高田市と住田町に要望書を提出して、首長と意見交換を実施した。

連合は「働くことを軸とする安心社会」を構築するため、政策制度要求の実現に向けて連合本部・各地方連合会（連合岩手）・各地域協議会において運動を展開している。震災からの復興、人口減少や産業振興、住民福祉の維持向上等、自治体を取り組むべき課題は多い。

私たちは、格差是正の継続的な取り組みや社会保障と税の一体改革の推進、教育の機会均等や能力開発の強化など、雇用と暮らしの安全・安心を確かなものにしななければならない。

連合気仙は、どのような働き方であれ、性別や年齢にかかわらず、誰もが希望を持って働き、社会的インフラ整備、子育てや教育、医療・福祉に関する施策の充実によって、安心して暮らせる地域

社会を築く積極的な取り組みを行政当局に求めた。

三〇日九時からの住田町への要請行動には、菅野町議

にも同行をいただき、二八政策を提出、少子高齢化社会における雇用の確保や医療・介護関係職員の処遇改善、公共交通路線の整備等の意見交換を行い、神田謙一町長は、

「国付きの事業が多く職員定数も減らされた。住民サービスとは、何が有効なのか、将来に向けた産業振興を模索している」等が語られた。

一時から、陸前高田市に初め要望書を提出した。

三九項目の内、復興道路の整備、労働者施策、働き方の社会問題、森林整備、農業・水産資源の活用等八項目について意見交換を行った。

戸羽太市長からは、「三陸道・BRTなど地域にあった

**大船渡市長選挙**  
2018年11月18日(日) 公示日  
11月25日(日) 投票日

**投票に行こう!**

投票日に投票できるか  
不確実な場合は、  
事前に **期日前投票**

11月19日(月)～11月24日(土)

時間は、8時30分～20時まで  
投票所は、大船渡市役所本庁  
※三陸支所、綾里・吉浜両地域振興出張所は、8時30分～17時15分まで

**自分の一票を投票しよう  
自分が望む未来のために**

十一月二日、リアスホールにおいて「戸田公明後援会総決起大会」が開催された。十一月八日に告示・二十五日投票開票される大船渡市長選挙の機運を高める場と位置づけた総決起大会には、連合気仙の各単組が結集した。冒頭、水野後援会は、「戸田市長は自慢話をしない、市長の人脈で国際ボランティアが大船渡に来てお世話になった。まして頑張り屋、首長が変わったら大船渡の大損失になると挨拶した。来賓の黄川田国民民主党県連代表は、「首長は一党一派のためではなく市民のために汗をかき、戸田氏は大船渡の将来、気仙の将来になくてはならない人」と激励。連合岩手八幡会長は、「働く人々の暮らしが良くなるよう政策協定を結んだ。ボラ

**戸田公明後援会総決起大会**

将来自世に豊かで  
安全、安心な夢ある大船渡を

公共交通網の考察、請負業者の負担等を考え公契約条例は検討したい、スポ少指導者の一般化は難しく、学校事務を共有し仕事の持ち帰りな



ソティアに入った際にはお世話になった。私たちの政策を市政に反映している、戸田氏に復興の総仕上げをしていただくべく労働組合の総力を挙げる」と決意と激励。田村県議は、さまざまな課題に取り組み、一〇七号の改修では内陸との物流に成果



が現れている。いま何が大事なのかを考え、戸田氏に任せることが大船渡の飛躍発展につながる」と力を込めた。戸田市長をはじめ激励の挨拶、来賓・後援会役員の紹介、メッセージを披露した。戸田市長は、「市民一丸となって復興に努めてきた。三期目に向けた目標は、①復興の総仕上げと高齢化・人口減少の時代に対応する地域力を向上させる、②多様な地域課題の克服に挑戦し、地域産業を活性化して市民所得の向上と少子化の歯止めを全力を尽くす」の二点を掲げ、一一の総合的政策・大船渡市の新ビジョンを披露した。後援会総決起大会に先立ち参加者へのチラシ配布の支援や参加された組合員の皆さん、お疲れさまでした。

彼の死後、京都新聞は「過去語らず 京の奇人逝く」という記事を載せた。異形の存在であった彼を受け入れる寛容さがあったのは京都という街の懐の深さだけでなく、時代もまたおろからたからだろう。「河原町のシュリー」が現代に戻ったら、何を思い、何を語るのか？河原町でコーヒーでも飲みながら話をしてみたい。

一九七〇年代の京都に「河原町のシュリー」と呼ばれた有名なホームレスがいた。「京都大学の卒業生」「本当は大金持ち」などの伝説があり、河原町の名物ともいえる存在だった。一九八四年二月に彼は凍死したが、ご遺体は親族がひきとったというから、何らかの理由があつてホームレス生活を選んだのだろうか。六六歳だった。

**Winter campaign**

東北労金は、資産形成のお手伝いをさせていただくために、年末一時金支給に合わせて、「ウインターキャンペーン」を実施します。宮城県内でも有数のいちごの生産地として知られている山元町は、東日本大震災の津波によって甚大な被害を受けました。いちご栽培の復活に向けて、農家とともに瓦礫の撤去や農地の再生・ビニールハウスの建設に携わった学生ボランティアが、地域の復興に繋がる商品として企画開発したのが「山元いちごチョコレートクランチ」です。購入価格の一部は「宮城県東日本大震災みやぎこども育英募金」へ寄付され、東日本大震災によって被災した子どもたちの支援に役立てられています。

2018 11/1(水)～12/31(月)

対象取引のいずれかを  
ご利用いただいた方 全員に  
山元いちごチョコレート  
クランチのつりプレゼント!

＜対象取引＞  
定期預金(新規 5万円以上の預け入れ or 増額)、マイプラン・各種ローンの新規ご契約、iDeCo(個人型確定拠出年金)投資信託(5万円以上の新規購入)など。  
※ 詳細は担当者に問合せ下さい。

**らど**

毎年、京都に遊びに行っている。四年ほど前、烏丸御池のバス停を降りるホームレスにみかんをあげたことから会話をするようになった。髪も髭も伸ばし放題で年齢不詳だったが、意外に若い人だった。ある年の冬、バス停から彼が消えていた。「ああ、ついに」と寂しい気持ちになったが、翌年の夏に彼と再会した。相変わらず汚い格好だったが、なぜか髪はさっぱりとしていた。ちよっとうれしくなり、発泡酒をプレゼントした。「ありがとう」と彼は言った。

Id 17